



KIWA TOPICS

No.1
創刊号
2008年12月発行
京都国際木版画協会
Kyoto International
Woodprint Association

第5回 KIWA高鍋巡回展



2007年春に京都で開催した第5回KIWA展の高鍋巡回展が、宮崎県高鍋町の高鍋町美術館で2008年9月13日から10月1日まで開かれました。高鍋美術館は、城下町の風情を取り入れた趣のある外観と、多目的ホール、常設展示室、企画展示室、実習室などからなる機能的な内部とが調和した美しい美術館です。当巡回展では、受賞作品を含め、32カ国、93名の作家による150点の作品が展示されました。京都展では、「出品者の作品は必ず一点は出展する」という趣旨のもとで、出品者223名の作品が一堂に並びましたが、今回は、宮崎の人々に「世界の木版画」の多彩さ、楽しさをできるだけ味わって頂くことを念頭に作品を選びました。その結果、規模は小さいながらも、京都展で割愛しなければならなかった作品も展示することができ、ひと味違った楽しい展覧会になりました。また今回は、高鍋町にご協力頂き、三つの賞を授与していただきました。(賞と受賞者は以下の通りです。*)また会場では来館者の皆さんに人気投票をしていただきました。その結果は次ページをご覧ください。

今回私たち(KIWAスタッフおよび友人たち)は、総勢12名で高鍋町を訪問しました。展覧会開幕の前夜は、高鍋町町長の小澤浩一氏をはじめ、高鍋町教育委員長、美術館のスタッフ、地元の有識者の皆さんが歓迎会を開いてくださり、宮崎の郷土料理に舌鼓を打ちながら、高鍋町の歴史や文化について興味深いお話を聞くことができました。初日のオープニング・セレモニーには町長、教育委員長、美術館長、KIWA会長のスピーチの後、テープカットが行なわれました。その後、一行は日本神話のふるさと、高千穂に足を延ばし、美しい自然のなかで神話の世界が脈々と息づいているのを肌で感じました。2泊3日の短い旅でしたが、宮崎の人々との温かい出会いに、そして高千穂に宿る神々との出会いに、心躍る楽しい旅行でした。

KIWAは来年2009年の秋に、オーストリアから依頼を受け、ハル市で巡回展を開催することになりました。目下、実現に向けて計画が具体化しつつあります。今回の高鍋巡回展は、まさにKIWAワールドツアーの最初を飾る記念すべき巡回展だったといえるでしょう。

リチャード・スタイナー

受賞者一覧 ※

高鍋町町長賞

ウォルター・バジェット氏
「やつで」
(アメリカ)



高鍋美術館館長賞

アルベルト・ラモス氏
「母性」
(ペルー)



高鍋町教育委員会委員長賞

ハッサン・キラン氏
「風とダンス」
(トルコ)



高鍋、高千穂とはなんぞや? という皆様へ...ここからは、今回の巡回展に参加した会員からの報告です!

高鍋町 —— その温もり

大前 厚子

宮崎県高鍋町。初めて訪れたその地は大変静かな城下町でした。別名舞鶴城と呼ばれる高鍋城はどんな美しい姿をしていたのでしょうか。そんなことに思いを馳せながらお堀沿いに歩いていくと高鍋町美術館が見えてきます。お堀の周辺はとても風情があり、美術館の外観はその雰囲気スッと溶け込んでいるよう。館内でのKIWA巡回展も大変観やすい展示で、京都とはまた一味違った雰囲気に作品の表情も違うように感じられました。高鍋町長を始めとして教育委員長や地元の有識者、美術館スタッフの方たちから暖かい歓迎を受けたことも忘れられません。町を散策して見つけたとっても雰囲気がある「黒木酒造」。残念ながら工事中で見学することはできませんでしたが、急な訪問にも親切に対応して下さいました。社員さんに心が温まりました。フラッと立ち寄った文房具店の店主ご夫婦もとても気さくな方たちで、またまた幸せな気分。みんな高鍋町が大好きになりました。またぜひ訪れてみたいものです。

神はいたのか?

山岸 茂美

この度、高鍋巡回展を観た後、宮崎の高千穂を訪ねた。そして天照大神が隠れたと言われる天の岩戸や、八百万の神々が集まり相談したとされる天の安河原に立つ。いろいろ学者の説はあるが、難しい論争などどうでもいい。さまざまな土地に逸話や風土記はあるが、此の場もまさに日本の源流のひとつだ。古の神秘なるオーラを素直に体が感じる。最後に神が降り立ち、眺めたとされる国見ヶ丘に、私も立つ。高千穂に来るまでこれらは、お伽話で村おこしの材料位に思っていたが、来て、見て、肌で感じた。これこそ、天孫降臨神話だと。

宮崎の伝統的文化や美しい自然を満喫しました♪ 今回の巡回展で多くのことを学んだKIWAは、今後の活動に向けて日夜打ち合わせをしております。会員の皆様への広報や、作品の維持、会の運営など、さまざまな活動に向け、今後も皆様のご支援をよろしくお願い致します!

KIWA 高鍋巡回展 人気投票 結果発表

- 1位 ● V. Sritrakulkitjakarn 氏(タイ)
突然変異体 V
- Eakkasith Wongpinta 氏(タイ)
豊かさ 1
- Aria Komianou 氏(ギリシャ)
コンポジション 555
- 2位 ● Natachai Prommoon 氏(タイ)
自然の記憶 6
- Victor Lipkin 氏(イスラエル)
キャラバン
- 3位 ● Alberto Ramos 氏(ペルー)
電話

会場の様子や高鍋町美術館については、以下のサイトをご覧ください。

- KIWA展会場:
<http://www.flickr.com/photos/kiwapphoto/sets/>
- 高鍋町美術館:
<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp/museum/>

★来秋予定されるオーストリア巡回展もツアーを企画する予定です。詳細が決まり次第、KIWATOPICSでご紹介していきますので、楽しみに!



● 寄付金キャンペーンのお知らせ ●

KIWAは2009年より2014年まで5年にわたり、企業や個人に呼びかけ、寄付金キャンペーンを繰り広げる予定です。目下、KIWAの緊急の課題は、事務所、作品の収蔵庫、専従職員の確保です。高温多湿の日本においては、とりわけ作品の保管環境の整備は必要です。また巡回展の依頼の増加にともない、今秋より、新部門GAT(グッド・アート・ツアー)が開設されました。KIWAの活動はこれまで全てボランティアの手によってなされ、運営費も会員の皆様からいただく年会費でまかなわれてきました。しかし、活動内容が充実してくるにつれ、更なる財源の確保が必要となってきます。とりわけ海外との通信や、作品の管理を行なう専従職員が必要となってきています。ぜひともご協力いただきますようお願いいたします。

編集後記

今回のKIWA TOPICSは新しい試みとして作られました。会員の皆様により早く情報をお伝えるため、ページを減らし、回数を増やすことが目的です。ご感想お待ちしております!(ふき)

■発行 京都国際木版画協会(KIWA)
住所:〒606-0816 京都市左京区下鴨松ノ木町64
E-mail: sat-steiner@nifty.com
編集: 針谷扶希 大矢礼子 KIWAスタッフ
翻訳: 堀まとか スタイナー紀美子